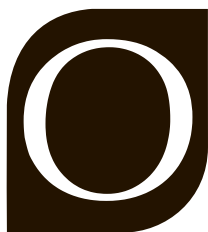


# SOEKS



線量計  
QUANTUM

# 認証

СИСТЕМА СЕРТИФИКАЦИИ ГОСТ Р  
ФЕДЕРАЛЬНОЕ АГЕНТСТВО ПО ТЕХНИЧЕСКОМУ РЕГУЛИРОВАНИЮ И МЕТРОЛОГИИ



## СЕРТИФИКАТ СООТВЕТСТВИЯ

№ РОСС RU.9002.100102  
Срок действия с 15.11.2012 по 14.11.2015  
№ 0014208

ОРГАН ПО СЕРТИФИКАЦИИ РОСС RU.9001.110102

ЭЛЕКТРОБОРУДОВАНИЕ ООО «СВЕТЛИС» «РЕГ.АМАНТ.СЕРТ»  
192007, Санкт-Петербург, Куркина ул., д. 28/32  
Тел.: 777-05-15. Тел./Факс: 766-19-40

### ПРОДУКЦИЯ

Измерители радиомощности в уровне накопленной дозы радиации,  
модели: "QUANTUM", "QUANTUM-".  
ИУ.ЭС.4103.008-Г9. Серийный выпуск.

код ОК 001 (ОК 02)  
42 2000

### СООТВЕТСТВУЕТ ТРЕБОВАНИЯМ НОРМАТИВНЫХ ДОКУМЕНТОВ

ИУ.ЭС.4103.008-Г9, вч. 1.1.2, 1.1.3, 1.1.4.1, 1.1.4.2, 1.1.4.8, 1.1.4.6, 2.2.

код ТН ВЭД России

### ИЗГОТОВИТЕЛЬ

ООО "Св/лс", инд. ОКНД 83954002,  
127506, Москва, Алуфьевские шоссе, д. 48, стр.1, пом. 1, этаж 29,  
ИНН 7842375504.

### СЕРТИФИКАТ ВЫДАН

ООО "Св/лс", инд. ОКНД 83954002,  
127506, Москва, Алуфьевские шоссе, д. 48, стр.1, пом. 1, этаж 29.

### НА ОСНОВАНИИ

Протокол испытаний № 1227 от 15.11.2012г., выданный ИОИ  
ООО "СВЕТЛИС "Рег.Амант.Серт.", РОСС RU.9001.210105.

### ДОПОЛНИТЕЛЬНАЯ ИНФОРМАЦИЯ

Последующий контроль: апрель 2013г., апрель 2014г.

Материалы по продукции предоставляются заявителю бесплатно по ГОСТ Р 59460-02

и по запросу "добровольная сертификация" по условиям договора

с Федеральным агентством по техническому регулированию и метрологии. Схема сертификации

Схема сертификации



Руководитель органа

Эксперт

*[Handwritten signatures]*

О.Б. Ага

Исполнитель

Е.В. Чубков

Материалы

сертификат не принимается при обязательной сертификации

# ISO 9001取得

  
**Voluntary Certification System  
«Unitary Standard»**

---

Registered to the Federal agency for technical regulation and conformity  
Registration number in the unified register of registrars  
voluntary certification systems  
POCC RU.3609.04-UK00

Coordinating body of the System  
Evaluators of Quality Management Systems, LLC  
Bldg.7/9, Bezymyayevskaya st., Moscow

Certification authority  
Quality Management in Accordance with International Standards, LLC  
Bldg.7/9, Bezymyayevskaya st., Moscow, 125184, tel. +7 (495) 840-11-17

---

**№ POCC RU.3609.04-UK00 / EC.C.O.02.01.000777-12**

## CERTIFICATE OF CONFORMITY

Issued to **SOEKS, Limited Liability Company**  
Altufievskoye shosse, h-48, bld. 1, pr. 1, room 39, Moscow, 127566, Russia  
TIN 7842376568

This is to certify that

Quality management system in respect to designing, manufacturing, sale,  
warranty and maintenance service of electric and electrical devices

Conforms to the requirements of

**GOST R ISO 9001-2008 (ISO 9001:2008)**



This Certificate obliges the organization to maintain the quality of the works performed by it according to the requirements of the above regulatory documents, and this will be monitored by the Certification Authority of the Voluntary Certification System "Unitary Standard" and confirmed at annual inspections.

This Certificate is issued based on the conclusion of the expert committee:  
№ EC.C.O.02.01.000777-12, dated 07.03.2012

Registration date: 07.03.2012      Valid before: 07.03.2015

Head of the Certification Authority      Chairman of the Committee

 Filsova N.A.       Antonov D.A.

005843

## 目次

認証.....	2
ISO9001取得証明書.....	3
目的.....	5
基本キット.....	5
仕様.....	6
使用上の注意.....	7
装置の外観.....	8
設定手順.....	9
電池を入れる.....	9
デバイスの電源制御.....	10
ボタンプロック.....	10
画面インジケータ.....	11
«測定»モードのインジケータ.....	13
«蓄積線量»モードのインジケータ.....	15
«データ»モードのインジケータ.....	16
個別設定.....	17
時間/アラームクロック.....	17
言語.....	17
放射能.....	17
放射線量.....	18
音声.....	18
画面.....	19
電源.....	19
データ.....	19
測定結果.....	20
ソフトウェアリカバリ.....	21
製造元の保証.....	23

# 線量計Quantum

## 目的

線量計クアンタムは累積放射線量を測定し、製品の放射能レベルを評価します。放射性元素に汚染された物体、食品または建築材料を検出するために設計されています。(検出結果は、あくまで目安としてお考えください。)

線量計クアンタムはX線放射を考慮しながら容易にイオン放射線(ガンマ線およびベータ粒子ストリーム)のパワーレベルに応じた放射能のレベルを評価することができます。

## 基本キット

線量計クアンタムには以下のものが含まれます。

線量計クアンタム	1台
取扱説明書	1冊
充電式バッテリー(単4形)	2個
USB電源ケーブルミニUSB	1本
アダプター本体	1台
外箱	1個

クアンタムには、左右両側にイオン放射センサーとして2本のガイガーミュラー管が配置されています。

メーカーが本製品に追加機能を組み込む権利を有します。当社のウェブサイト上でファームウェアの新しいバージョンを追跡してください。[http://soeks.ru/en/catalog/dozimetr\\_quantum/](http://soeks.ru/en/catalog/dozimetr_quantum/)  
詳しくはSOEKS Device Managerのマニュアルをご覧ください。

## 仕様

指示されたバックグラウンド放射線レベル、mcSv/hの範囲	1000まで
累積投与量の測定範囲は、シーベルト	1000まで
線量蓄積時間	999日まで
バックグラウンド放射線測定値の履歴	10秒単位で24時間以上
記録されるガンマ放射線エネルギー	0.1以上
レベル, mcSv/h	0.3 から100まで
計測時間、秒	10
表示の表示形式	数字およびグラフィック
電源	単4形電池の充電式または非充電式
電源電圧範囲	1.9 - 3.0 V
デバイスの連続作業時**	700時間まで
全体の寸法 高さ×幅×厚さ、最大、mm	130 x 52 x 18
(電源なし) 重量、最大、グラム	71
バッテリー充電電流、最大、mA	300
充電器やUSBからの消費電流	500以下
充電器出力電圧	4.5 から5.5まで
ディスプレイ	カラーTFT, 128x160
動作温度範囲, °C	-20から+60まで

注:

\*測定回数を増やすと、測定の信ぴょう性が高まります。

\*\*本製品の連続作業時間は、デフォルトの設定と容量1000mAhのの電池 2 個で、10時間までです。

## 使用上の注意

ご使用になる前に、慎重に以下の安全対策を読んでください。デバイスを使用するときにそれらをお守りください。これらの規則に違反すると誤動作の原因や製品の故障の原因になります。以下に述べる安全対策に違反している場合は、メーカーの保証は無効となります。

- 本製品が衝撃など外的要因により損傷する可能性を回避してください。

- 水中や水面など、高湿度の条件では使用しないでください。製品は防水仕様ではありません。

- 電源の液漏れ、デバイスの故障、損傷を引き起こす可能性がある直射日光や高温の場所で本製品を長時間放置しないでください。

- 磁石やモーターなどの強力な磁場を発生させる機器の近く、または送電塔など強い電気時期信号を発する場所に製品を長時間放置しないでください。

- 携帯電話、電子レンジの近くに測定を行わないでください。測定値に影響することがあります。

- 分解しないでください。また、ご自身で装置の修理しようとししないでください。

- 非充電式電池を使用する場合、PCやソケットにデバイスを接続しないでください。

- 電池を取り付ける際には極の向きにご注意ください。逆向きの場合デバイスが過熱し、故障することがあります。

## 装置の外観



左ボタンは[←]メニュー(リスト)を上スクロールします。このページのトップへ(最初の)リスト上の位置に達すると、カーソルが一番下(最後の)位置に移動します。パラメータの値を減少させます。

右ボタンは[→]メニュー(リスト)を下スクロールします。下部のリスト上の(最後の)位置に到達すると、カーソルが一番上の(最初の)位置に移動します。パラメータの値を増加します。

中央ボタンは、[•]デバイスのオン/オフを切り替え、メニューのアクションとリターンを確認します。



電池収納部のカバーは、デバイスの裏側にあります。デバイスは、充電式または使い捨ての単四電池を使用します。

電池収納部の底部には、ボードのメイクとSOEKSの商標があります。

デバイスの右側に、ミニUSBケーブルにUSBを使用してSOEKS Device ManagerソフトウェアでPCにデバイスを接続したり、PC又は主電源からバッテリーを充電するために使用することができるミニUSBコネクタがあります。

## 設定手順

本製品を使用する前に、この取扱説明書を読んで理解してください。

### 電池の取り付け

- 取り付ける電池を入れる際には、デバイスの損傷を防ぐために、極の向きに特に注意してください。電池は2本とも同じ向きで+極がユーザーから見えます。

- デバイスのスイッチをオフにするときは、機器に電池を残したままにできます - デバイスがオフになったとき、電池放電は行いません。

- 長時間使用しない場合は、スイッチをオフにして、デバイスから電池を取りだしてください。

## ご注意!

非充電式電池を使用しているか電池を取り付けていない場合充電器やパソコンに製品を接続しないでください。これは電池の過熱、損傷、液漏れ、デバイスやその表示に問題を起す可能性があります。

## デバイスの電源制御

1. するため表示が点灯するまで[●]中央ボタンを押したままにし、[●]中央ボタンを離します。
2. デバイスをオフにするため表示が消えるまで[●]中央ボタンを押したままにし、中央ボタン[●]を離します。  
中央ボタン[●]を押したままにした場合、デバイスのモードに関係なく、デバイスをオフします。累積放射線量と測定値の履歴に関する情報は、デバイスのメモリに保存されます。

デバイスをオフにするために、他の方法、例えば、電池切れや、電池を取り除くなどはお勧めしません。データは、結果として失われる可能性があります。

## ボタン


キーパッドをロックするために、左[↵]右[↵]の両方のボタンを押して、キーパッドロック・シンボルが表示されるまでボタンを押し続けます(11ページ)。キーパッドをロック解除するために、左[↵]右[↵]の両方のボタンを押して、キーパッドロック・シンボルが消えるまでボタンを押し続けます。

キーパッドがロックされている間、デバイスは、背景放射線量と蓄積線量を測定し続けています。


キーパッドがロックされ、画面に何も表示されていない場合は、いずれかのボタンを押すと、画面が短時間オンになり、再びブランクになります。

## 画面インジケータ

表示 1. バッテリーの充電状態

 - 正常なパワー・レベル

 - 減っている

 - 低充電レベル  
バッテリーを充電か、  
交換してください。

 - 充電中

 - 充電済み



ご注意! 充電レベルが非常に低下していて、デバイスがオフになっている場合には、測定データの誤作動や損失があり得るため、設定が失われることがあります。インジケータが赤色の場合はすぐに充電器にデバイスを接続したり、電池を交換してください。

2. キーボードのロック表示

 - キーボードがロックされています。

3. PC接続インジケータ

 - デバイスは、「SOEKSデバイスマネージャ」ソフトウェアに接続されている

4. 棒グラフ

棒グラフは最後の分の平均放射活性値を示しています。右から左に、常にグラフが移動し、バーのサイズはバックグラウンド放射のレベルを表しています。バーは、予め設定されたバックグラウンド放射線閾値を超えた深刻度に応じて、緑、黄又は赤で表示されます。

## 5. 時計

時計は24時間形式で現在の時刻を示しています。

## 6. ヒントライン

ヒントラインは、対応するコントロールボタンの機能の名前と記号を提示します。

▲ - リストを上スクロール

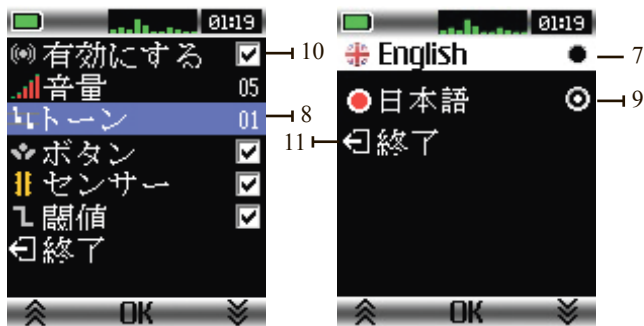
▼ - リストを下スクロール

OK - アクションを確認

Menu - メニューに戻る

- - 値を小さくする

+ - 値を大きくします



7. 現在の行(ハイライト)は白です。

8. 項目を選択すると、ラインは青に変わり、コントロールボタンの機能は"-"(減少)と"+"(増加)に変わります。

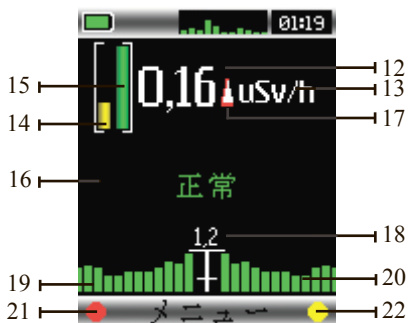
9. 現在のパラメータ値は、中央のボタンを用いて選択され、真ん中のボタン[.]によって示されます。

10. 中央のボタン[.]でそれを確認して、パラメータを選択します。

11. «終了»を選択し、前のメニュー項目に戻ります。

## 「測定」モードのインジケータ

「測定モード」に記載された以下の記号が画面に表示されます：



12. 放射能レベル。放射能レベルは、画面の中央に大きい数字で示されている。デバイスが最初に測定を取っていると、単語「測定」が画面に表示されます。

13. 単位:  $\mu\text{Sv/h}$

14. 測定はREADY表示結果:10秒未満で埋めます。バックグラウンド放射線レベルが高い場合には、少ない時間で表示されます。

15. 精度インジケータ:優れた精度で緑色。それが2分未満(12の測定値)かかり、すべての領域を満たすまで、後続の各測定値(10秒)とインジケータフィールド内のバーでは、増えていきます。処理中に、バックグラウンドの急激な変化が(3倍の増加よりも、または10倍の減少以上に)検出された場合、精度指標はゼロに設定されます。これはバックグラウンドレベルの急激な変化を検出し、未満10から20秒で信頼性のある値を表示します。

16. ロシアの放射線安全基準のNRBに基づいた背景放射の状態についてのメッセージ – 2009/99。

- 測定された背景放射線が0.4未満マイクロシーベルト/ hである場合には、緑色のメッセージで「背景放射線正常」が表示されます。
- 測定された背景放射線は、0.4から1.2マイクロシーベルト/ hの場合、黄色のメッセージで「背景放射線が高い」が表示されます。
- 測定されたバックグラウンド放射を超える1.2マイクロシーベルト/ hの場合、赤のメッセージで「背景放射線危険」が表示されます。

17. 背景放射の変化の指標:

- 平均値の背景放射線よりも30%高い値が検出された場合には赤色矢印(一本)は、上方に表示されます。
- 平均値の背景放射線よりも30%低い値が検出された場合は緑矢印(一本)が下向きに表示されます。
- 平均値の背景放射線よりも有意に高い値が検出された場合には赤色矢印(二本)は、上方に表示されます。
- 平均値の背景放射線よりも有意に低い値が検出された場合は緑矢印(二本)が下向きに表示されます。

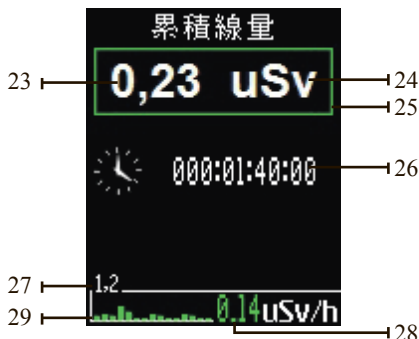
18. プリセット背景放射閾値。

19-20. 棒グラフは左右の検出器からの最後の分の放射能データを示します。グラフは常に、中心に向かって背景放射線のレベルを表すバーのサイズを移動しています。バーは、予め設定された背景放射線閾値を超えた深刻度に応じて、緑、黄又は赤になります。

21-22. 左右の検出器に対応する放射性粒子検出の指標。多くの粒子が存在する場合にインジケータが黄色であり、ほんの少し数が存在する場合、インジケータは赤色になります。

## 「蓄積線量」モードのインジケータ

「蓄積線量」モードで以下のシンボルが画面に表示されます：



23. 累積線量の値.

24. 単位:  $\mu\text{Sv/h}$ .

25. 許容累積線量レベル過剰のフレームインジケータ。超過するとフレームインジケータが赤くなり、点滅し始めます。

26. 次の形式で蓄積された線量測定の合計時間:DDD:HHHHH:MM:SS (日:時:分:秒)で表示します。

27. プリセット背景放射閾値。

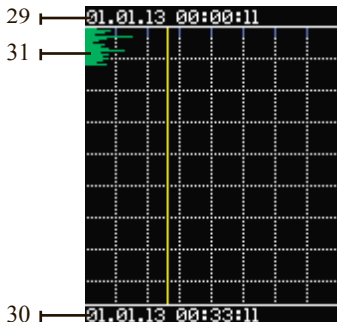
28. 背景放射線の現在の値。

29. 最後の分の平均放射能値を示す棒グラフ。グラフは常に、背景放射線のレベルを表すバーのサイズを右から左に移動しています。バーは、予め設定された背景放射線閾値を超えた深刻度に応じて、緑、黄又は赤になります。

メニューに「蓄積線量」モードから復帰するには、[・]中央のボタンを押してください。

## 「データ」モードのインジケータ

「データ」モードでは以下のシンボルが画面に表示されます:



29. 履歴の始まりの日付と時刻。

30. 履歴の中で最後のエントリの日付と時刻

31. 棒グラフは測定が起動された瞬間から蓄積線量操作がリセットされた瞬間までの全期間の放射能値の平均を示します。グラフは常に下方に背景放射線のレベルを表す水平バーの長さを移動しています。バーは、予め設定された背景放射線閾値を超えた深刻度に応じて、緑、黄又は赤になります。

棒グラフを上スクロールするため左ボタン[↵]を押して、下にスクロールするため右のボタン[↘]を押してください。

メニューに「データ」モードから復帰するには、[\*]中央のボタンを押してください。



## 個別設定

測定を行う前に、お使いのデバイスの設定をカスタマイズすることをお勧めします。

### ● 時間/アラームクロック

● **日付/時刻** - デバイスを使用する前に、現在の日付と時刻を設定します。これは、測定履歴を保存し、現在時刻を表示し、「アラームクロック」機能を使用する必要がある。日付と時刻は電池が削除された場合でも、リセットされません。

● **アラームクロック** - 「アラームクロック」機能を有効にして時間を設定するには、このオプションをチェックします。デバイスがオフになっている場合でも、アラームクロックが消灯します。音がオフになっている場合、クロックの色のみ表示します。いずれかのボタンを押すと信号をオフにすることができます。

### «設定»メニュー

#### ● 言語

表示言語を選択することができます。

#### ● 放射能

リスト上の16のプリセット値から必要な閾値を選択してください。

$\mu\text{Sv/h.}$
0,3
0,4
0,5
0,6
0,7
0,8
0,9
1,0
1,2
1,5
2,0
5,0
10,0
30,0
60,0
100,0

予め設定されたバックグラウンド放射線閾値を超えたときに、断続的な音のアラームが起動され、グラフ上のバーは、閾値を超過した深刻度によって、黄色か赤色に点灯します。

アラーム音をオフに切り替えることができます。  
«設定» - «音声» - «閾値»

## ●放射線量

リスト上の15のプリセット値から必要な閾値を選択してください。

0.01 mSv
0.05 mSv
0.1 mSv
0.5 mSv
1.0 mSv
5.0 mSv
10.0 mSv
50.0 mSv
0.1 Sv
0.5 Sv
1.0 Sv
5.0 Sv
10.0 Sv
50.0 Sv
100.0 Sv

予め設定された累積線量閾値を超えたとき、アラームが起動します。

## ●音声

このメニュー項目に音声・パラメータを設定することができます。

● **有効にする** - デバイス上のすべての可能な音声をオフにするには、このオプションをオフにします。

● **音量** - 1から5のスケールで、デバイス上のすべての可能なサウンドの音量を設定します。

● **トーン** - デバイス上のすべての可能な音声の3つのトーンのいずれかを選択します。

● **ボタン** - ボタンを押したときに信号をオフにするには、このオプションをオフにします。

● **センサ** - 検出器は放射性粒子を登録するときに信号をオフにするには、このオプションをオフにします。

● **閾値** - プリセットバックグラウンド放射線の閾値を超えた場合、アラームをオフにするには、このオプションのチェックを外します。

電力を節約し、バッテリー寿命を向上させるために音をオフにすることをお勧めします

## ● 画面

明るさと点灯表示が残っている時間:このメニュー項目では、画面のプロパティを設定することができます。

- 輝度 - 画面の明るさを1から10段階に設定できます。

- **画面OFF** - ボタンが押されていない場合はディスプレイを点灯したままにする間隔を設定します。可能な値 - 1から10分。

«00» - デバイスがオンになっている間はディスプレイは常時、点灯しています。

電力を節約し、バッテリー寿命を向上させるために、低輝度レベルと非アクティブの短い間隔に設定をお勧めします。

## ● 電源

- **自動電源OFF** - デバイスが自動的にオフになる1~60分の間隔を設定します。

«00» - 中央ボタン[•]を押してオフにするまで、デバイスはオンのままになります。

## ● データ

- **オンタイム** - 各測定、約10秒ごとに、記録します。このケースでは、約24時間にかぎりデバイスのメモリに詳細な情報を保存します。

- **線量変化時** - バックグラウンド放射線の変化のみが登録されます。この場合、デバイスのメモリを登録一か月以上のデータを保存することができます。

パラメータを切り替える場合には、保存されたデータはリセットされません。録音は新しいモードで続きます。

## 測定結果

電源を入れた後、デバイスは自動的に放射性環境の登録を開始します。約10秒後に最初の結果が表示され、新しい測定サイクルが開始されます。それはモードを使用するかにかかわらず、オフされるまで、デバイスは計測を続けます。装置は、精度指標が完全に充填される最も正確な結果(ページ13、頁15)を得ます。

### 物体の背景放射線を測定する

食品建築材料および他の物体の背景放射線を測定するには以下のようにしてください。(検出結果を保証するものではありませんので、あくまで目安としてお考えください。)

1. 物体から数メートルの距離での背景放射線レベルを測定します。
2. デバイスを物体に近づけて、物体からの最小距離での背景放射線を測定します。
3. 手順1で登録された自然の背景放射線レベル測定値と比較してください。1と2の測定値の差は、物体からの追加の背景放射線です。

液体の放射能汚染を評価するために、測定は、液体の開口面の上部で行います。デバイスまたは内部への液体侵入を防ぐために、一枚でよいのでビニール袋でデバイスを包むことをお勧めします。

### 蓄積線量を測定する

蓄積線量を測定することは、デバイスがオンになる瞬間から始まりデバイスはモードを使用するかにかかわらず、オフになるまで継続します。デバイスがオンになっている次の回は、累積線量の測定は継続されます。データは、「SOEKS Device Manager」ソフトウェアを搭載したPCを使用してリセットすることができます。

## 測定データの保存

デバイスは、最初の測定値を取得した瞬間からデータの保存を開始します。メモリが一杯になるまで連続して保存します。メモリがいっぱいになると、それ以上のデータを保存することが出来ません。保存された測定データは、更なる検討のために、PCに転送することができません。

履歴パラメータは、[設定]メニュー（19ページ）で設定できません。

PCにデバイスを接続した場合、より詳細な測定履歴情報は「SOEKS Device Manager」ソフトウェアで得ることができます。

## ソフトウェアリカバリ

どうしても必要な場合は、ハードデバイスのソフトウェアをリセットし、工場出荷時の設定を復元しますが、すべてのデータが失われます。

ハードをリセットするには、左[↵]ボタン、右[↵]ボタンを同時に押してから中央ボタンを押してください。

画面上で必要なオプションを選択します：

「ファームウェア修理」 - ユーザーのためのものではありません！このオプションは、サービスセンターの担当者を対象としています。

「すべての修理」を - 選択し、ハードがリセットになります。ブートインジケータが充填され、姿を消した後、「終了」を選びます。画面がブランクになり、デバイスのスイッチをオフにすることができます。

「終了」 - 変更を行わずにリセット・モードを終了することを選択します。

## マーキングとシーリング

デバイスの名前は、ケースに書かれています。製造業のシリアル番号と日付は、アキュムレータで、バッテリー・セクションに記述されています。メーカーは、デバイスを密封していません。

## パッケージ

パッケージは、通常の気候条件下の、輸送や保管中の装置の安全性を確保します。

## 輸送および保管

パックされたデバイスは、任意の距離にわたって任意の輸送のタイプで出荷することができます。

輸送中に、デバイスは湿気から保護する必要があります。

パックされたデバイスの出荷条件は、次の要件を満たしている必要があります。

- 環境温度-40°Cから60°Cまで
- 25°Cで相対湿度最大90%

操作されるまで、デバイスは-5°+40°Cと(温度+25°C)最大相対湿度80%気温と倉庫で、工場出荷時のパッケージに保管されている必要があります。デバイスは、パッケージなしに保管することはできません。デバイスを長時間氷点下の気温で置いた場合は、使用前に2時間屋内で保管する必要があります。

## メンテナンス

メンテナンスは以下の通りです:

- 装置の外表面から塵埃を除去します。
  - 適宜、電源を交換したり充電したりしてください。デバイスが長時間(2週間以上)に使用されていない場合は、電池を取り除く必要があります。
  - ディスプレイの清掃は柔らかい布のみで行ってください。
- デバイスの背面側のアキュムレータ部分や穿孔を介してデバイス内部への異物を防ぎます。

## 製造元の保証

メーカーはユーザーがこのマニュアルに記載されて保管および輸送に動作条件、安全対策、および要件を遵守していることを条件に、デバイスの効率的な運用を保証します。

デバイスの保証期間は小売ネットワークを介して購入された後12ヶ月です。直接販売流通の場合には、最終的なユーザーがデバイスを受け取った後、保証期間が開始されます。任意の誤動作がデバイス内で検出された場合、保証期間は、デバイスが保証修理中で、最終的なユーザーがデバイスを使用することができない期間延長されます。

保証修理サービスに連絡する前に、この取扱説明書に記載の事項を慎重に読むことをお勧めします。

当社の公式ウェブサイトにて電子メールアドレスにコメントをお送りください：

株式会社ソエクスジャパン

〒152-0002

東京都目黒区目黒本町6-17-19-101

株式会社ソエクスジャパン

TEL. 03-6451-0868

<http://soeks-japan.co.jp/>

保証修理は、製造業者の工場で行われます。

以下の場合、この保証は無効となります。

- デバイスのシリアル番号が保証クーポン内の番号と同一でない場合。
- 保証クーポンが破損、訂正や消去により判読不可能な場合。
- 本明細書中に記載の出荷、保管、操作するための要件に違反している場合。
- 第三者の行為や不可抗力による誤動作である場合。
- デバイスまたはその内容部分に、衝撃やその他の物理的衝撃(ケース内部の傷、割れ、欠け、緩い部品、ディスプレイ上の色の斑点など)の兆候がある場合。
- 機能不全は、デバイス内部の異物、液体や昆虫によって引き起こされた場合。
- ユーザーがデバイスを分解したり、修復を試みた場合。

## Acceptance and sale certificate

DOSIMETER QUANTUM

TY HYJIC.414313.008-TY performance standards compliance ready for operation

Head of Quality Control Department

signature

signature expansion

date

Sold by

name of retailing company

Date of sale \_\_\_\_/\_\_\_\_/201\_\_\_\_

Place of Seal

